

提出順	16	発言順	16	平成 4 年 2 月 16 日
				午前 午後 11 時 31 分受領

(/ 枚中No. /)

令和 4 年 2 月 16 日

安曇野市議会議員 平林 明 様

安曇野市議会議員 小林 純子

一般質問発言通告書

下記のとおり、通告します。

議会名	令和 4 年安曇野市議会 3 月定例会		
発言の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 一問一答 <input type="checkbox"/> 一括質問一括答弁	質問時間	20 分
答弁を求める者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 他 ()		
	担当部長 <input type="checkbox"/> 総務部 <input checked="" type="checkbox"/> 政策部 <input type="checkbox"/> 財政部 <input checked="" type="checkbox"/> 市民生活部 <input checked="" type="checkbox"/> 福祉部 <input checked="" type="checkbox"/> 保健医療部 <input checked="" type="checkbox"/> 農林部 <input type="checkbox"/> 商工観光部 <input checked="" type="checkbox"/> 都市建設部 <input type="checkbox"/> 上下水道部 <input checked="" type="checkbox"/> 教育部 <input type="checkbox"/> 他 ()		
質問事項	誰一人取り残さない安曇野市の住宅政策について		
質問の要旨 (具体的に記載してください) 安曇野市は、地方自治体のはたすべき役割として「SDGs を推進し、地域の課題解決と地方創生を目指していく」という姿勢を明確にし、自治体として社会的課題の解決と持続可能な地域づくりに向けて動き出したところである。 この SDGs＝持続可能な開発目標 17 のうち『目標 11 住み続けられるまちづくりを』に関わって、誰もが健やかに日々を暮らすことができる、そんな「住みたい安曇野」に、これからもずっと住み続けることができるよう、そして「住んでよかった安曇野」となるような市の取り組みに期待して質問する。			
1、DV 被害者の避難施設、生活困窮者や被災者の一時宿泊所などの緊急対応の住居や、移住促進のための「おためし住宅」、新規就農者住宅などの政策的対応の住宅など、市が実施している住宅施設関連事業の現状と評価、課題について			
2、化学物質過敏症、シックハウス、アレルギー、香害などで、一般的な居住環境では生活が困難な方々は、中山間地域の古い公営住宅や空き家などの活用を望んでいるが、市の住宅政策として対応できないか			
3、入居率の低い教員住宅等の公共住宅を、シングルマザー専用シェアハウスにリノベーション (新たな機能、価値の再生のための改修) してはどうか			
4、公営住宅の目的と昨今の社会情勢を考慮して、保証人の確保や税の滞納がないことなどの入居者条件の見直しをすべきではないか			